

# 学生と図書館との協働

東京工業大学 事務局参事（データマネジメント担当）  
兼 研究推進部情報図書館課長

茂出木 理子 Modeki Riko

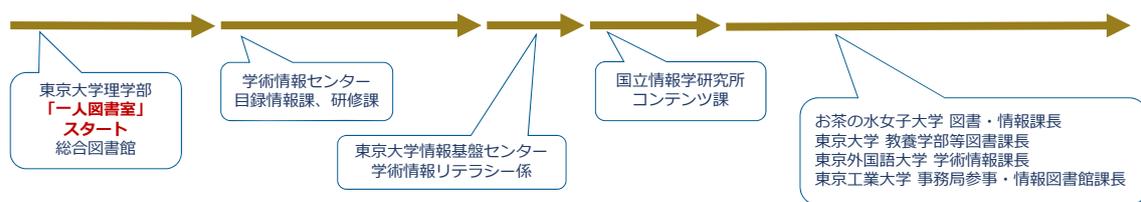
modeki.r.aa@m.titech.ac.jp



この資料は [クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンス](#)の下  
に提供されています。

1

## 自己紹介



### 携わってきたこと

NACSIS-CAT/ILL, Webcat開発, ILL料金決済システム, GeNii開発, 研修企画・運営, 情報リテラシー教育, ラーニング・コモンズ, キャリアカフェ, 学生協働, ILL料金無料化, 図書館Webページリニューアル, 貴重資料のデジタルアーカイブズ, 大学出版会事務担当及び営業, オープンアクセスポリシー策定, 図書館謎解きゲーム, 人生を変えた1冊 (学生による教員インタビュー), 電子ジャーナル予算の安定化, 図書館名改称, 図書館全面リニューアル, 図書館動画, 研究データポリシー策定 etc

もっとも自負しているのは「無茶ぶり」に応えること



2

本日、私がお話ししたいこと



「図書館の学生協働」とはかくあるべし、  
という正論ではなく、

こうあると面白いな！こうありたいな！と  
みなさんが各々思えるような、話題を提供  
したい。

3

本日、お伝えしたいこと



●当事者として業務するのは大変だ  
けど、楽しい。

●どうせやらねばいけない事なら、  
前向きに楽しくやるに限る。



4

## 課題1 参考サイトを読んでおくこと



『東工大生の、東工大生による東工大生のための』謎解き脱出ゲームを実施して～『任せ・きる』視点からの学生協働～  
(ラーコモラボ通信 第76号 2017.11.26)



5

## 課題1 参考サイトを読んでおくこと



『東工大生の、東工大生による東工大生のための』謎解き脱出ゲームを実施して～『任せ・きる』視点からの学生協働～  
(ラーコモラボ通信 第76号 2017.11.26)

- ヒントは出しても**最後は自分で答えを見つけ出させる**という学生たちの技量は、私から見てもなかなかのもので、大変頼もしく思うと同時に、「サポート」の本質を学生たちから教えてもらったようにも感じました。
- 図書館サイドの、いわば**大人の事情を学生たちに押し付けるのではなく**、謎班の学生たちの「とにかく面白いことをやりたい」「東工大生に難問を突き付けたい」というモチベーションを大切にしていた。
- 大学図書館での「学生協働」が学生を困り込んでいるように思われ、結果、図書館内に閉じた内向きな活動、非常に**「窮屈」な状態になりつつあるのではないか?**という**自省の思い**の裏返し...
- 見守りながらも**「任せ・きる」**のが**図書館長と図書館職員の仕事**と考えています。

6

# まずは、私の経験から

## 2007年3月 ハーバード大学見学での原体験



90名の学生  
アシスタント  
がいる。

全て閉架式なので  
主な作業は、返本。

学生に人気のある学内職種  
この学生達を仕切るアシス  
タントライブラリアンは、  
同じ職階の中で  
もっとも給料が高い。

Harry Elkins Widener Memorial Library, Harvard University 2007.3.19 撮影

## 2007年11月 お茶の水女子大学での最初の学生協働



2007年11月 図書館職員と学生の協働により図書館の活性化を図る「LiSA:LibraryStudent Assistant」プログラム開始

この前段として、  
2006年4月にお茶の水女子大学 図書・情報課長として着任。  
さっそく学長と館長に「**図書館をなんとかしてください!**」と言われた。

### 2007.10.22 図書館Webページ

このたび附属図書館では、「Library Student Assistant」制度を試行的に導入することといたしました。この制度は図書館での業務の体験を通し、幅広い資料の実際に接していただくことによる学習支援に併せて、**高い職業意識の育成や利用者としてサポートを受ける側からサポートする側になることによるキャリア意識形成**などを目的に実施するものです。  
業務の実施にあたっては、図書・情報チームリーダーを始め、図書館のスタッフが指導助言を行います。意欲のある学部学生のみなさまの応募を心からお待ちしています。

附属図書館長 羽入佐和子

### 2007.11.12 LiSAブログ

ついに、本日お茶の水女子大学附属図書館でLiSA (Library Student Assistant) がスタートしました！やる気にあふれた学部学生13名と図書館長以下図書館スタッフの総力を結集して、**大学図書館業界に衝撃を与えるのが今の野望ひとつです。** 図書・情報チームリーダー 茂出木 理子

9

## 2010年 東京大学駒場図書館での学生協働



### 図書館Webページでの募集

東京大学では、大学でのさまざまな活動に学生が主体的に参画することを奨励するため、「東京大学ジュニア・スタッフ」に任命し、奨励金を支給する制度を実施しています。

この制度を活用し、駒場図書館では以下の図書館業務を行うジュニア・スタッフを募集します。

※大学院生・留学生は対象外となります。

- マイクロ資料劣化調査 募集を締め切りました
- 蔵書点検、資料移動、施設整備等 募集を締め切りました。
- 学習用図書の選書、e-bookのレビュー作成 募集を締め切りました

10

## 2013年 東京外国語大学での学生協働



### 多言語コンシェルジュによる「学習相談デスク」

2011年10月3日、東京外国語大学附属図書館が「学生相談デスク」というサービスをスタートしたとのことです。大学院生が「多言語コンシェルジュ」として、文献や情報の探し方やレポートや卒論の書き方など、さまざまな言語・分野にわたって利用者の相談に乗ってくれるというもののようです。ウェブサイトには多言語コンシェルジュの在席スケジュールが、専攻言語・分野とともに公開されています。

カレントアウェアネス-R Posted 2011年10月5日 記事より

11

## 2017年～ 東京工業大学での学生協働



2010年5月 図書館サポーター活動開始

2021年11月現在：学部生 7名，大学院生 16名

○東京工業大学図書館サポーター実施要項

改正 平22.7.1, 平23.8.1, 平24.11.1, 令元.9.11

(趣旨) 第1条 この要項は、東京工業大学（以下「大学」という。）が実施する図書館業務に参画する大学の学生（以下「図書館サポーター」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的) 第2条 図書館サポーターの実施は、図書館業務に学生の意見や発想を取り入れることにより、図書館サービスの充実を図るとともに、図書館サポーター自身も大学における学術情報流通に関与することで大学についての理解を深め、また、図書館サポーター間で情報交換等の交流の場を持つことにより学生生活における豊かな交友関係の形成に資することを目的とする。

(活動内容) 第3条 図書館サポーターは、次に掲げる支援業務に参画する。

- 一 学術情報の収集・提供に関すること
- 二 図書館の広報に関すること
- 三 図書館利用者の支援に関すること

… 以下、略

12

## 2017年～ 東京工業大学での学生協働



2018.10.24

東工大スペシャルピックアップ

図書館で、読もう！学ぼう！遊ぼう！：「チーズケーキ」の下へ潜って出会うもの  
リベラルアーツ研究教育院でメディア論を教える柳瀬博一教授が聞き手となり、図書館長を務める工学院の山室恭子教授と茂出木理子情報図書館課長が附属図書館の魅力を語りました。  
お二人が力点を置くのは、**東工大の学生たちが主体的に図書館運営に関わること。**

山室館長：

今の大学図書館に足りないことって何だろう、館長就任前から時々考えていたんですね。思い至ったのが、「**大学生と図書館の関係って、とっても淡泊だな**」ということでした。」  
東工大の図書館では、以前から学生たちの力を借りてきました。「図書館サポーター」という制度がそれです。私としては、学生が主人公となって図書館を活用してくれないだろうか、と思ったんですね。

茂出木：

「**協働**」するだけではなく、**学生と図書館とが「共鳴」して、新しいムーブメントを起こしてほしいな、**と思っています。

13

## 2017年～ 東京工業大学での学生協働



「共鳴」して、新しいムーブメント！？

- ⇒ 1つの結果が次につながり、想定外のことが次々と！
- ⇒ 何が幸いするか、何が当たるかやってみないと分からないし
- ⇒ 図書館内から、館外へ、学内外での認知、好評価へ

図書館のルーティン業務の補助作業

- カウンター
- 返本，書架整理，資料移動
- 図書装備
- 企画展示
- 見学者案内



東工大生のスキルを楽しく発揮してもらおう

- 「謎解きゲーム」の作成・公演実施
- 教員へのインタビュー記事作成「人生を変えた1冊」
- コロナ禍でも、リモート活動でできること何かないか... そうだ！動画制作！

14

## 2017年～ 東京工業大学での学生協働



- 2020.4.8 キャンパス立ち入り禁止, 図書館閉館, 図書館サポーター活動休止。
- 2020.7.1 図書館サポーターSlack立ち上げ, サポーターのリモート活動の許可を大学から取りつける。
- 2020.7.16 動画コンテンツ作成のキックオフミーティング (zoom) → 資料は次スライドに再掲
- 2020.10.22 最初の制作動画3本をYouTubeアップ 現在18本, 1本制作準備中
- 2020.11.8 東工大オープンキャンパス オンライン2020 に参加
- 2021.2.22 (東工大) 学生応援フォーラムに参加

- 2021.9.17 カレントアウェアネス-Rに記事掲載
- 2021.10.20 Jcross図書館の紹介動画 で4本の動画を掲載
- 2021.11.14 入試課から図書館サポーターに仕事依頼
- 2021.11.18 大学Webページのスペシャルピックアップに記事掲載

これからどう展開するかな? (わくわく)



大学Webページスペシャルピックアップ  
「図書館サポーターが動画で図書館の魅力を発信」

15

## 2020.7.16 キックオフミーティング資料



年間3,000名以上の一般見学をお迎えしていた東工大図書館...

しかし, 当面, リアルに見学ツアーを実施することは難しい...

しかし, 東工大図書館の魅力を, 特に受験を考えている高校生そして, その保護者の方々には伝えたい!

図書館見学をしたつもりになれるような  
コンテンツを作りたい

- いつまでに: 11月ぐらいまでに「試作版」が完成できれば
- 何を: やりながら考えたい。動画でもスライドショーでも何でもよい。
- 制作ポイント:
  1. 東工大図書館のカッコよさ, 素敵さを伝える。
  2. アップデート, 追加ができるよう, 作りこみすぎない。
  3. できるだけ短く (3分以内)。見ている人に面白いと思ってもらえるものを。

16

# タイトルをなぜ「学生と図書館との協働」にしたのか？

17

## タイトルをなぜ「学生と図書館との協働」にしたのか

- 図書館が主体の文脈ではなく、学生が主体の文脈で考えたい。
  - 学生が主体の文脈って？
  - 学生がやりたいことをやってもらうこと？
  - 学生の思い、立場に共感すること？
  - 学生を「支援」すること？

伊藤亜紗 編『「利他」とはなにか』集英社新書 2021.03

p31-32 共感が近いところや似たものに向かう共感であるかぎり、地球規模の危機を救うために役立たないのは、彼らが指摘するとおりです。加えて共感は、もっと身近な他者関係でも、ネガティブな効果をもたらすことがあります。  
なぜなら、「共感から利他が生まれる」という発想は、「共感を得られないと助けてもらえない」というプレッシャーにつながるからです。  
これでは、助けが必要な人はいつも相手に好かれるようにへつらっていなければならない、ということになってしまいます。

18

## ~~かくあるべし~~—こうだと面白いかも！こうありたいな！



2010/7/16 平成21年度東北地区大学図書館協議会合同研修会「学習支援の場としての大学図書館の役割」プレゼン資料再録

お茶大図書館 何を考えて実行していたのか？

- スピードが大事
- 美しいものが良い
- 楽しくて思いやりのある職場が良いサービスを生む etc . . .



スピードが大事

- ▶ 準備は緻細に、行動は大胆に
- ▶ とにかくやる、ダメだったら即やめる
- ▶ スピードのためにもっとも重要なこと  
→ (リーダーの) 決断が的確でわかりやすい

19

## 大学図書館サービスの高度化



「学生協働」がこれからの大学図書館サービスの高度化にどう資するのか？



- 大隅 典子 東北大学副学長 (広報・共同参画担当), 附属図書館長, 大学院医学系研究科 教授  
「大学と大学図書館」
- 竹内 比呂也 千葉大学副学長, 附属図書館長, アカデミック・リンク・センター長, 人文科学研究院教授  
「大学図書館職員の新たな役割」
- 永崎研宣 一般財団法人人文情報学研究所  
「新技術を活用した新たな図書館サービスの可能性」

以上, 大学図書館職員長期研修講義 公開資料  
<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/choken/2019/nittei.html>

20

## 大学図書館サービスの高度化



- 九州大学附属図書館、「図書館TA(Cuter)と協働した学習支援活動による図書館サービスの高度化」により、「令和3年度国立大学図書館協会賞」を受賞 <https://current.ndl.go.jp/node/44463>

評価された点として、学生協働の運営体制・活動内容を体系的に整備し、学習・教育・研究の支援拠点としての図書館機能を高度化したこと、学内関連部署や教員と連携して大学における図書館のプレゼンスを高め、活動の持続可能性を担保したこと

(審査結果報告からの抜粋)

- ✓ 組織・財源を確立・強化し、活動基盤を構築し**事業としての継続性**
- ✓ TAが在宅で勤務できる体制を**迅速に**整え
- ✓ 国際会議におけるベストポスター賞の受賞など、国内外の関係機関の**高い評価&成果発信**

21

## 大学図書館サービスの高度化って？



私にとっては、その時々<sup>の</sup>学長、あるいは館長からの  
「図書館をなんとかしてください！」

「大学生と図書館の関係ってとっても淡白ですね」

等の真摯で率直なご意見に対して、逃げずに向かい合い

「なんとかしていく」こと



22

## 本日、お伝えしたいこと（再掲）



- 当事者として新しいことを担当するのは確かに大変だけど、傍観者でいるよりは楽しい。
- どうせやらねばいけない事なら、前向きに楽しくやるに限る。
- そして、組織としての「仕掛け作り」も前向きに楽しめるか？



23

## 質問をどうぞ



私立と国立の違いはありますが、大学職員、  
大学図書館に勤める仲間として、  
「学生協働」以外のことでも何でもどうぞ



24